

烏骨鶏粉末のラット中性脂肪、コレステロールに及ぼす影響
中江美和* ○岡田朋子* 本多直子* 大森正司* 掛益享**
(* 大妻女子大 ** (株)上野屋)

【目的】烏骨鶏は日本では天然記念物に指定され、古来より珍重されてきた。体は白色レグホンよりも小振りであるが、脚は長く、皮膚、骨、肉に至るまで黒紫色なので、この名があるとされる。日本や中国の古書「神農本草経」などにも烏骨鶏の薬効のことが記され、漢方としてよく利用されてきたが、その効果の科学性については未だ不明のところが多く残されている。本研究ではこれらの点を明らかにする目的でラットに烏骨鶏を投与し、各臓器、血液への影響を試験した。

【方法】ウィスター系雄白ラット（6週令）を1群6匹として5群を設けた。日本クレア製粉末飼料CE-2に烏骨鶏粉末（骨、皮、肉を凍結乾燥粉状にしたもの）を1～5%添加し、自由摂取とした。対照区はCE-2のみとセルロース5%添加したものを用いた。これを室温25℃、湿度50%の動物室で12時間ずつの明暗状態で3ヶ月飼育した。飼育後、屠殺解剖し臓器所見及び血液生化学試験を行い、続いて各臓器中の遊離アミノ酸量を測定した。

【結果】①全実験期間を通して飲水量、摂食量に有意の差は認められなかったが、体重及び肝重量は減少の傾向であった。②血液中HDL-コレステロールは対照区に比べ上昇として、中性脂肪は減少として示された。コリンエステラーゼ、総ビリルビン等には変動は認められなかった。